

文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）活用事例

【千葉県】君津市立清和小学校

活用の概要	<ul style="list-style-type: none">・ 小学校3～6年の国語、算数、理科の朝ドリル学習や家庭学習として、「ちばっ子チャレンジ100（千葉県提供の問題）」や「全国学力学習状況調査」等を利用している。子供たちには自動採点機能を活用させ、間違えた問題の直しを行わせている。・ 教師は、自動採点機能により課題等の結果を迅速に把握し、即時、授業改善や児童生徒の支援へ生かしている。
児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none">・ iPadのキーボードを使って、解答を入力することができるようになりました。・ 問題の種類がいろいろあったり、問題数が多かったりして、やりがいがあります。・ 理科の動画による問題に挑戦できてよかったです。・ 漢字検定や英語検定などの問題に挑戦したいです。
教員の反応	<ul style="list-style-type: none">・ 全国学力学習状況調査の問題等に取り組むことで、現在の子どもたちに身に付けたい学力の育成に生かすことができます。・ 従来の紙ベースの課題やデジタルのドリルソフトとMEXCBTを併用することで、子供たちの問題に挑戦する選択肢が増えました。・ 個人や集団の採点結果を迅速に把握できるので、個に応じた指導や集団指導、支援などへ反映させることができます。・ プリントを印刷する手間が減りました。
今後の活用	<ul style="list-style-type: none">・ 校内の基礎学力定着テストをMEXCBTで行うことで、印刷や採点の手間を省き業務改善を進めていく。・ 今後掲載される問題を意欲的に取り組めるようにしていく。・ 採点結果をもとに、更なる授業改善に生かしていく。・ 校内の活用事例を市内及び近隣市の学校に広めていきたい。



学校HPのURL

<https://www.fureai-cloud.jp/kmt-seiwa-e>